

尿中ナトリウム/カリウム比と家庭血圧・24時間血圧 一大迫研究一

24-hour urinary sodium-to-potassium ratio is associated with home blood pressure and ambulatory blood pressure: the Ohasama study

室谷 智子

東北大学大学院医学系研究科 予防医学・疫学部門 個別化予防・疫学分野

【目的】 尿中Na/K比と家庭血圧、24時間血圧の関連を同時に検討した報告はない。一般地域住民において尿中Na/K比が強く関連する血圧指標を解明することを目的とした。

【方法】 35歳以上の岩手県花巻市大迫町在住者を対象に、24時間蓄尿中Na/K比と家庭血圧、24時間血圧、昼間血圧、および夜間血圧との関連を、各種交絡要因を調整した共分散分析（ANCOVA）および重回帰分析で検討した。

【成績】 対象者880名を尿中Na/K比で4等分したQ1 (< 3.36)/ Q2(3.36-4.18)/ Q3(4.18-5.25)/ Q4(> 5.25)各群の調整後収縮期血圧平均値は、早朝家庭血圧で122.0/ 122.6/ 123.1/ 125.4mmHg、24時間血圧で121.7/ 121.1/ 122.7/ 123.4 mmHg、昼間血圧で127.6/ 126.8/ 128.7/ 129.5 mmHgと有意な群間差が認められたが（ANCOVA $P < 0.05$ ）、夜間血圧では認められなかった（ANCOVA $P \geq 0.25$ ）。収縮期血圧で、早朝家庭血圧と24時間血圧、または早朝家庭血圧と昼間血圧を同時にモデルに入れた重回帰分析では、いずれも早朝家庭血圧のみが有意に尿中Na/K比と関連した（ $P < 0.005$ ）。

【結論】 尿中Na/K比は、24時間血圧・昼間血圧及び早朝の家庭血圧と有意に関連した。夜間血圧については有意な関連を観察することが出来なかった。一般地域住民において、尿中Na/K比の管理が特に起床時の血圧コントロールに重要である。